

# つばめの母

岩手県 北上市立江釣子中学校 一年 伊藤 隼人

へびがひなをねらっていた  
親つばめは必死になつて守つた  
ぼくはいつも守られている  
つばめも人間も同じなんだと思つた  
それから数日して無事ひなが巣立つた

ぼくは、ひなが生まれるのをワクワクした  
それから毎日毎日、巣作りをした  
巣が一週間位で出来た  
巣立つ朝、準備運動しているように  
あつちにとまり、こつちにとまり  
「そろそろ行くか」

毎日、毎日温めた  
母は毎日つばめに話しかけていた  
「大きくなつてね」

「元気に育つてね」

それを聞いて、ぼくは笑つた  
でも幸せな気持ちにもなつた  
ある日、つばめが大声で鳴いた  
ぼくは、あわてて車庫に行つてみた

と伝えているかのように感じた  
ぼくは、とても良い体験が出来た  
又、ぼくの家に巣作りに来たら  
温かく見守つてあげたいと思つた  
母がぼくにしてくれるように